

授業改善の道具としてのICTは 何か

明治薬科大学
マルチメディア教育委員会
和田義親

目次

- はじめに
- 大学eラーニングマネジメントモデル
- e-Learning科目と運用体制の現状
- 授業形態
- 授業補助機能とIT利用状況
- ICT利用モチベーション
- ICT利用のヘルプツール
- まとめ

はじめに

○マルチメディア教育委員会の役割

マルチメディア教育機器の整備し、普及することで教育改善を図る。

○明治薬科大学のICT教育環境

1. 総合情報マルチメディア教育システム(1998～)

- ・学術情報データベース
- ・ウェブサーバ
- ・メールサーバ

2. サイバーキャンパス(2003～2008)

- ・授業コンテンツ自動収録システム
- ・授業コンテンツ配信システム
- ・各種試験管理システム
- ・レポート管理システム
- ・用語辞典
- ・学習カルテシステム

大学eラーニングマネジメント(UeLM)モデル

宮原俊之等、日本教育工学会論文誌35(I)、1-16、2011

「大学eラーニングマネジメント(UeLM)モデル」を用いた

国内eラーニング事例の運用体制の分析

教育活動の構造化=>役割分担

1. リエゾン(仲介)

コンテンツ制作時における教科教員に対するワンストップサービス

2. ラーニングコンシェルジュ(世話係)

運用時における学生に対するワンストップサービス

3. チュータ

教員の手伝い、学生への質問対応

4. メンタ(助言者)

動機づけを担う

5. インストラクショナルデザイナー

授業設計を行う

6. コンテンツスペシャリスト

コンテンツ制作を実際に行う

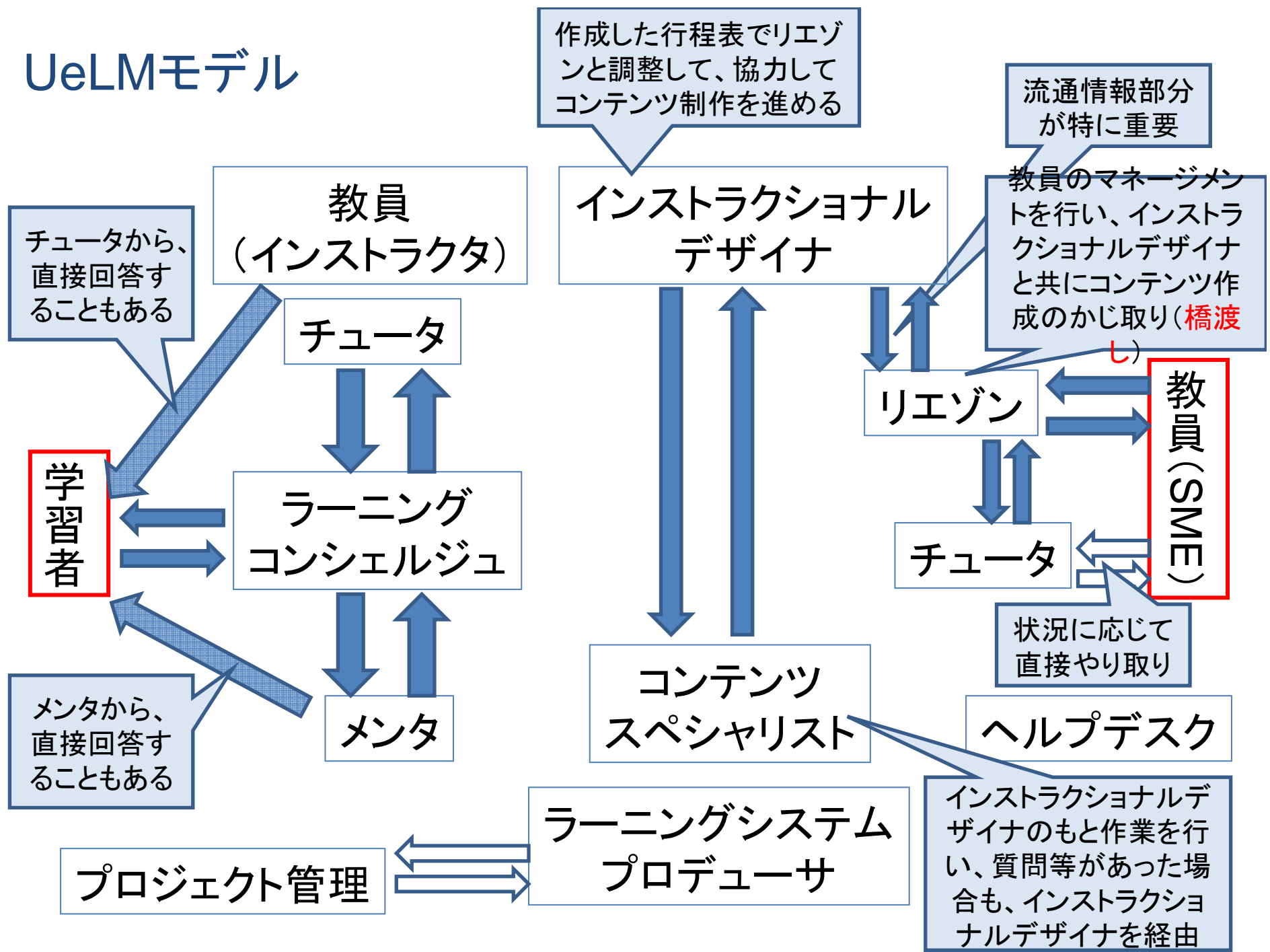
7. ヘルプデスク

コンピュータトラブル全般に関する質問に答える

8. ラーニングシステムプロデューサ

モデル全般の運営に対する一連の責任を担う

UeLMモデル



e-Learning科目と運用体制の現状

UeLMモデル	熊本大 (情報基礎科目)	明治薬科大学 (情報処理演習)
リエゾン	管理担当教員	(科目責任者)
インストラクショナルデザイナー	インストラクショナルデザイナー	—
コンテンツスペシャリスト	コンテンツ制作チーム	—
チューター	TA	—
ラーニングコンシェルジュ	TAまたは教科教員	授業担当者
メンタ	—	TA
ラーニングシステムプロデューサ	マネージャ、管理担当教員	—
ヘルプデスク	システム管理担当	情報教育研究センタ

明治薬科大学のニーズ

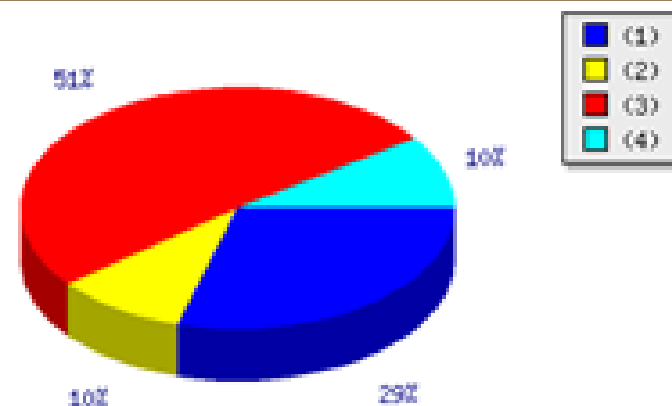
1. 単位互換協定の科目
2. 認定薬剤師研修制度の科目(生涯学習講座)

授業形態

学内教員アンケート(2011年7月14日～8月4日)vs.Web

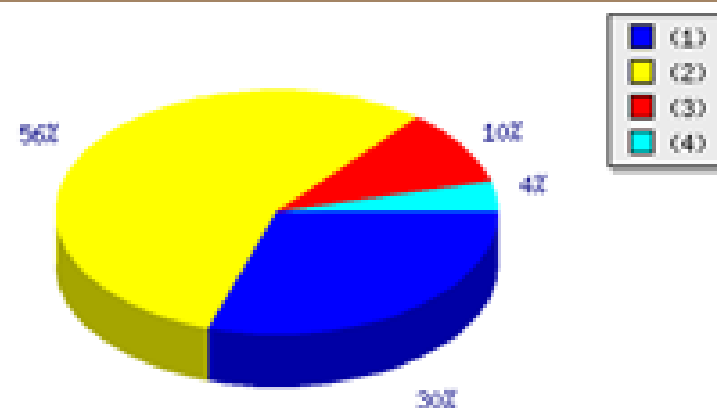
1. 教科書の主な使い方に当てはまる項目にチェックしてください。

- (1) 指定していない : 15件
- (2) 指定しているが授業に持参することを指示していない : 5件
- (3) 指定しており、授業中に教科書と照らし合わせている : 26件
- (4) 担当科目ごとに異なる : 5件



2. 参考書の主な使い方に当てはまる項目にチェックしてください。

- (1) 指定していない : 15件
- (2) 指定しているが授業に持参することを指示していない : 28件
- (3) 指定しており、授業中に教科書と照らし合わせている : 5件
- (4) 担当科目ごとに異なる : 2件

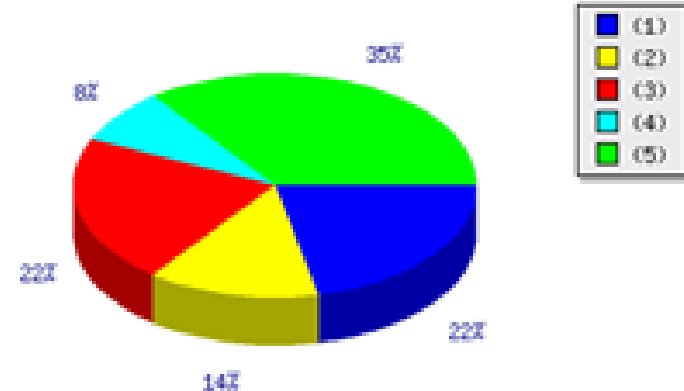


教育形態	知識蓄積型	思考力養成型
教科書無	資料確保	授業の繰り返し
教科書有	暗記	教科書読破

授業収録のニーズ

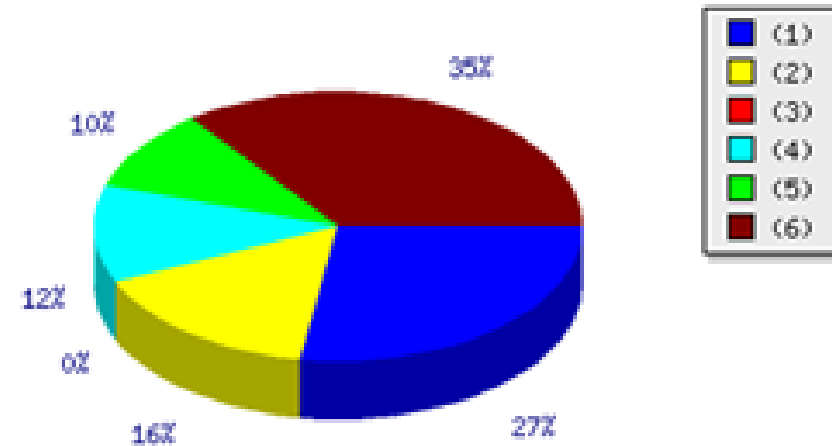
3. パワーポイントの主な使い方に当てはまる項目にチェックしてください。

- (1) ほとんど使わない : 11件
- (2) 板書代わりに使用 : 7件
- (3) スライドショーやアニメーション等パワーポイントの機能を利用 : 11件
- (4) 資料プリント作成のために使用 : 4件
- (5) 複数の目的でよく使う : 18件



4. 静止画像資料の主な使い方に当てはまる項目にチェックしてください。

- (1) ほとんど使用しない : 14件
- (2) 自作した画像を使う : 8件
- (3) 市販の教材を使う : 0件
- (4) 印刷物をコピーして使う : 6件
- (5) インターネットから引用する : 5件
- (6) 複数の方法でよく使う : 18件

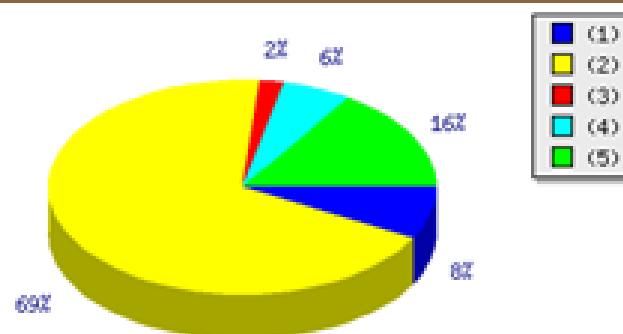


授業収録可能

授業補助機能

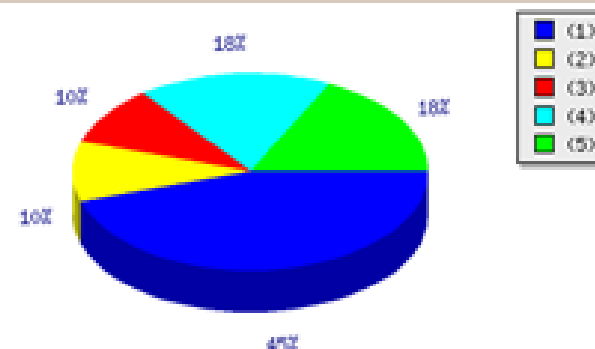
6. プリント資料の主な使い方に当てはまる項目にチェックしてください。

- (1) ほとんど使用しない : 4件
- (2) 印刷して授業前に配布する : 35件
- (3) 学生共通において自由に印刷させる : 1件
- (4) ウェブページにおいてダウンロードさせる : 3件
- (5) 複数の方法でよく使う : 8件



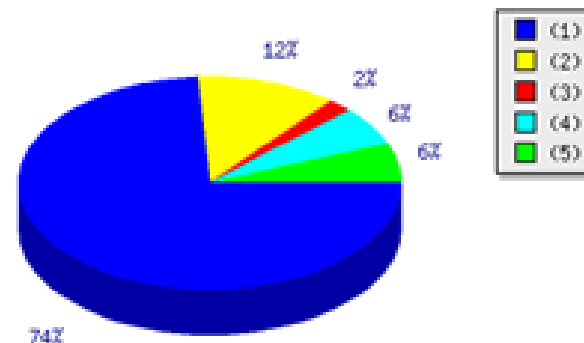
7. レポート課題の主な扱い方に当てはまる項目にチェックしてください。

- (1) ほとんど出さない : 23件
- (2) 提出させるだけで、提出の有無だけ確認する : 5件
- (3) 添削或いは評価して返却するが、単位の成績に反映しない : 5件
- (4) 評価し、単位の成績に反映する : 9件
- (5) 課題を出し、複数の方法で対応する : 9件

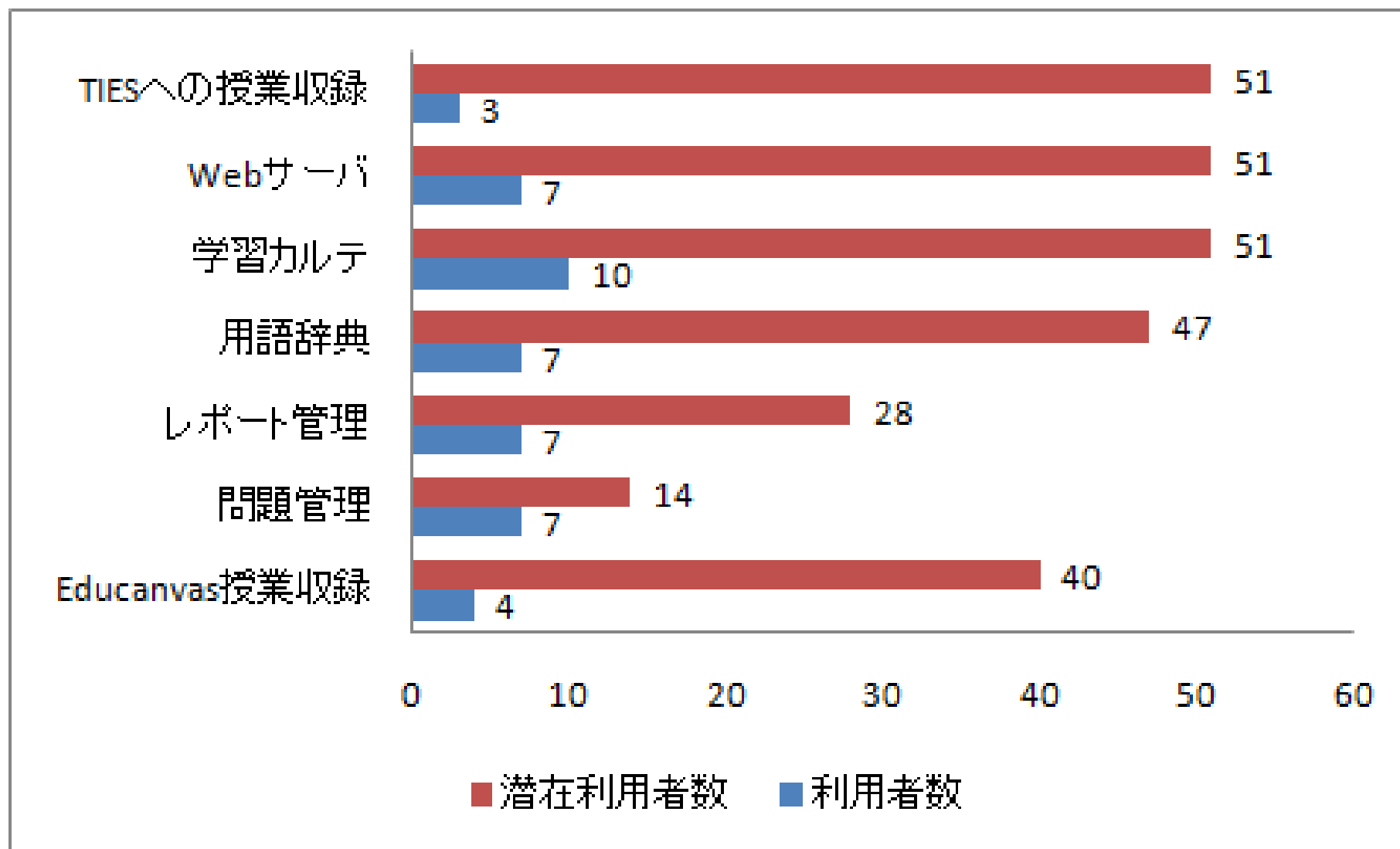


8. 小テストの主な扱い方に当てはまる項目にチェックしてください。

- (1) ほとんどしない : 37件
- (2) 自己採点させ、出欠の参考にする : 6件
- (3) 採点し、返却するが単位の成績に反映しない : 1件
- (4) 採点し、単位の成績に反映する : 3件
- (5) 実施し、複数の方法で対応する : 3件



ICT利用状況



ICT利用モチベーション

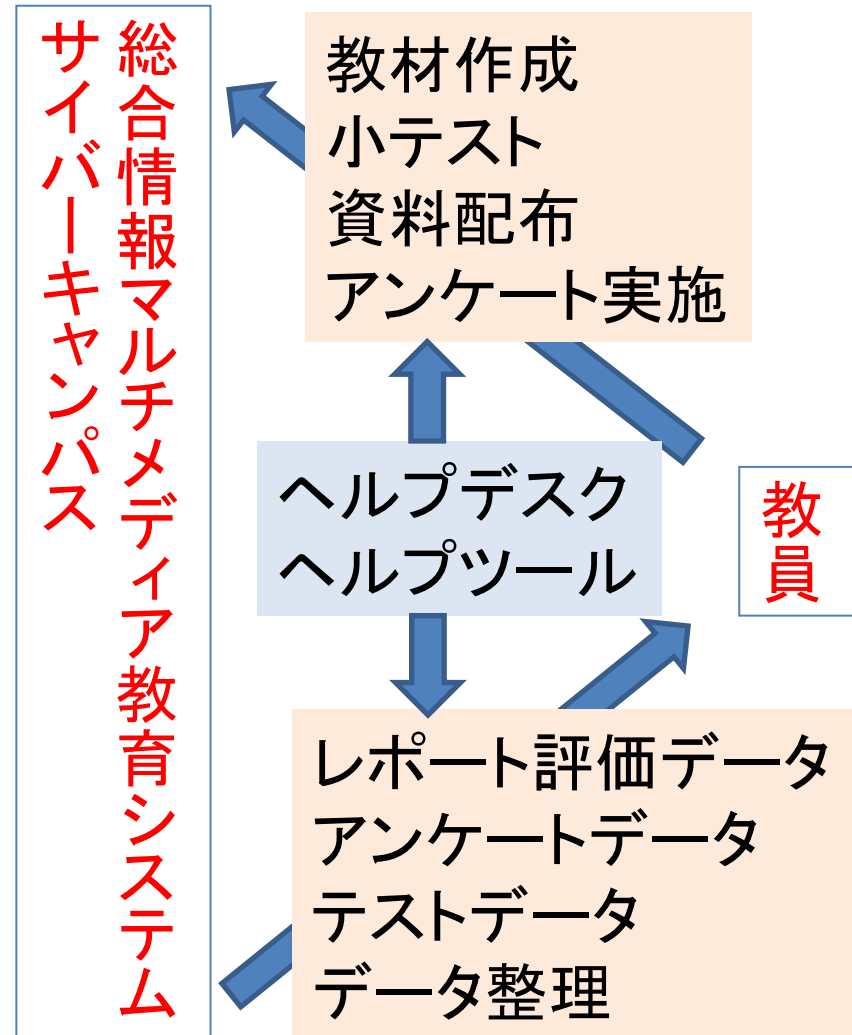
	ICTを使わない理由	反論
1	今のままで不自由しない	-----
2	使う意味がない	便利さを提示
3	使うことで弊害がでる	弊害をなくすシステム開発
4	効果が期待できない	資料やデータの再利用
5	新しいことを始めるには時間がない	やってみると案外簡単
6	メリットを知らない	使ってみると分かる
7	ICTは苦手	食わず嫌いからの脱却

モチベーション(ICT利用キャンペーン)

1. 講義ノートを残してシラバスの改善につなげよう
2. 授業を記録して学生に復習させよう
3. 学習効果の統計データを共有しよう
4. 多様な学生の指導履歴を共有しよう

ICT利用のヘルプツール

1. CSVデータのダウンロード
2. 学生名簿への転記
3. 課題提出状況のカウント
4. マークの採点
5. 点数の調整
6. 画像、映像部品入れ
7. ワープロ
8. 表計算
9. プレゼンテーション
10. ホームページ編集
11. Web検索
12. ファイル管理



まとめ

1. 単位互換や薬剤師認定制度用のe-Learning科目を推進するにはUeLMモデルに基づいた組織体制が求められる。
2. 授業コンテンツは学生の自学自習を促す。
3. 現ICTシステムは授業補助機能が充実しているが、利用度は低い。
4. 現ICTシステムはノートや資料の保存など教育のオープン化に応える道具として有効であり、組織としての取り組みが必要。
5. 個人レベルのICTリテラシー向上には小道具が必要。